

## 「桃・ぶどう 日本一の郷」宣言

わが笛吹市は、桃・ぶどうを中心とする一大果実郷である。本市は、甲府盆地の東部に位置し、御坂山塊や秩父山地を背後に複合扇状地にある。

土壌は肥沃で排水がよく、日照時間が長いうえに昼夜の気温差が大きく、果樹栽培に最も適している日本有数の果樹地帯である。

清流笛吹川のもと、春は桃の開花で始まり、秋にはぶどうの実と葉が色づくなど、盆地を巡る連山と農村風景とが相まって、四季の変化に富んでいる地域である。

桃の栽培面積 1,393 ha、収穫量 24,800 t、ぶどうの栽培面積 1,132 ha、収穫量 15,385 t を誇り、農林水産省「平成 15 年産果樹生産出荷統計」で日本一が確認された。

私たちは、桃・ぶどうなど、歴史ある日本の果樹栽培を先導してきた先人の偉業をたたえ、全国に誇れるすばらしい果実郷を守り、さらに発展させることを誓い、ここに「桃・ぶどう 日本一の郷」を宣言する。

平成 17 年 10 月 12 日

山梨県笛吹市長 荻野正直